

2026.5.15

報道関係者 各位

< 配信枚数 2 枚 >

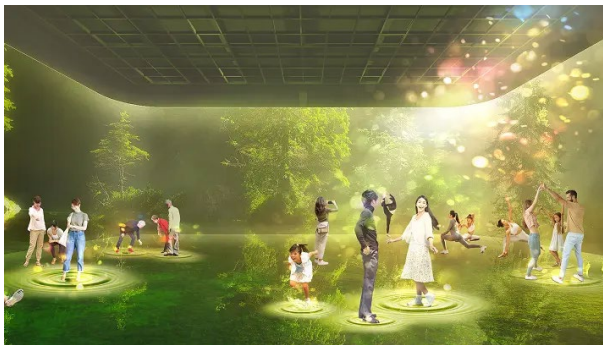
国内最大級[※]の XR 環境を活用した研究施設が誕生
立命館先端クロスバースイノベーションコモンズがオープン
～リアルとバーチャルが高度に融合する社会に向けた新たな研究拠点～

立命館大学(所在地:京都府京都市、学長:仲谷善雄)は、びわこ・くさつキャンパスに現実と仮想が高度に融合する「多重環境化社会」に対応した最先端の研究拠点「立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ(通称:CVIC(シービック))」を新たに開設し、本日から供用を開始しましたのでお知らせします。

CVIC は、人類が直面する現実世界と仮想世界が高度に融合した「多重環境化社会」における社会課題を解決することを目指し、人間の身体・心理・行動を統合的に解明する「身体圏研究」の拠点です。VR(仮想現実)や MR(複合現実)などの仮想世界を含む多様な環境介入と、生体・心理情報の同時計測を可能とする最先端設備を備え、分野横断型の「身体圏研究」を推進します。



< CVIC 外観 >



< クロスバースアリーナ 投影イメージ図 >

CVIC は、文部科学省の補助事業である令和 6 年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の採択を受けて整備した拠点です。テニスコート 2 面分の広さを持つ国内最大級[※]の規模を誇る高度没入空間「クロスバースアリーナ」をはじめとした XR 環境、モーションキャプチャ、生理・生体、脳活動などを高精度で計測する最先端の研究設備を備えています。これらを組み合わせることで、XR 環境が人間の身体・行動・認知や心理に与える影響を多角的かつ統合的に分析・研究することができ、XR 技術の活用により誰もがやりたい姿を実現できる、ウェルビーイングな社会を目指します。

また、CVIC で得られた知見をもとに、隣接のグラスルーツイノベーションセンター(通称:GIC(ジーアイシー))と連携し、研究成果の社会実装までを一体的に推進することができます。CVIC と GIC の両施設が揃う新たな拠点の始動によって、実社会から得られた課題やデータを最先端の研究へと還元するとともに、企業や自治体との共創による事業化や価値創出を進め、持続的なイノベーション創出の循環を実現します。

※:立命館大学調べ(2026 年 5 月時点)

■ CVIC について

国内最大級の高度没入空間「クロスバースアリーナ」(約 420 m²)をはじめ、VR・MR 環境、睡眠測定室、fMRI など多様な先端設備を完備した研究施設です。生体・心理・行動の多面的な計測が可能で、個人から集団までの多重環境下におけるリアルな体験とデータ取得を実現します。

クロスバースアリーナ

テニスコート 2 面分相当の約 420 m²を誇る先進研究空間。壁面・床面への 2D/3D・VR 映像投影により没入型仮想空間を再現し、リアルとバーチャル、アバター等様々な多重環境を纏った身体の集団が同時にコミュニケーションをとる世界を再現できます。



クロスバーススフィア

少人数向けに、高い没入感を得られるバーチャルリアリティ環境を構築できるシステムの導入を検討しています。これにより、感性評価やユニバーサルデザインの検証を行うための実験環境を実現します。



生体機能画像解析室

CVIC の MRI と、生理学研究所など他の施設にある MRI をネットワークで接続し、同時に脳活動を計測する「Hyperscanning」という技術を用いることで、コミュニケーションを取っている人が双方にとってどのような影響を及ぼすかを計測することが可能です。



ニューロエンジニアリングラボ

多重環境下での日常生活が、睡眠の質に及ぼす影響の計測が可能です。脳波計やミリ波センサなどの設備によって、多重環境が睡眠関連症状に与える影響評価などが研究できます。



CVIC 施設紹介 WEB ページ <https://r-jpeaks.ritsumei.ac.jp/facility/>

本リリースの配付先：
京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、科学記者会、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先
学校法人立命館 広報課 担当:大森・中嶋・覚(かく)
TEL.075-813-8300 Email.r-koho@st.ritsumei.ac.jp